

# 創造工学部 ホームエレクトロニクス開発学科



「学科情報誌」  
エイチイープレス

Vol.05  
2012.03.25

# HEpress

Department of Home Electronics

発行 神奈川工科大学 創造工学部 ホームエレクトロニクス開発学科  
〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030  
TEL.046-291-3244  
E-mail:he\_press@he.kanagawa-it.ac.jp

## 世界へはばたく ホームエレクトロニクス開発学科 卒業生の皆さんへ いつも応援しています

幾徳学園 理事長 中部謙一郎



このたび、ホームエレクトロニクス開発学科、卒業生1期生を社会に送り出すことになりました。

これまで多大なご協力を賜りました企業関係者、研究機関、関係団体の皆様に深く感謝するとともに卒業生皆さんの活躍を心より願っております。

平成20年4月に誕生したホームエレクトロニクス開発学科は、日本で初めて家電にロボットを当てた学科であり、様々な積極的活動を通して、年々成長を続けてきました。

このたび卒業する皆さんは、家電製品を工学の分野から総合的に勉強すると共に、社会の幅広いニーズにも対応するため、電気、情報工学だけでなく様々な分野を学び、「創意工夫」や「イノベーション」の意識をしっかりと持ち、学友と力を合わせ様々な経験を積んできました。このことは、本学の

## ホームエレクトロニクス開発学科 卒業生の皆さんへ

神奈川工科大学 学長 小宮 一三



2008年よりスタートしたホームエレクトロニクス開発学科を今春第一期卒業生として巣立って行く学生諸君、ならびに今日までご支援いただいたご家族の皆様にご挨拶申し上げます。

皆さんが在学中、「東日本大震災」という日本の将来を根底から考え直す出来事がありました。さらには国際社会も激動の道を歩んでおります。大学で得た貴重な経験をもとに、厳しい状況を的確にとらえ、自分の力を社会で発揮してくれることを心から願っております。

この4年間、学生諸君は熱心な教員の指導の下、基礎から応用までを体験型学習やPBL(Problem Based Learning)教育により、実践力ある技術者としての素養を身につけたと思います。特に家電企業と連携し、製品開発上の課題をテーマとした実践プロジェクトは素晴らしいと、それをベースに経済産業省主催の「社会人基礎力育成グランプリ2011」関東地区予選大会に出場し、優秀賞を受賞したことを本当にうれしく思いました。

さて、ホームエレクトロニクス分野は、言うまでもなく我国の中核産業で



あり、テレビ、エアコンなど私達の日常生活に不可欠な製品をはじめ、インターネットやモバイルと結合したネットワーク家電、自然エネルギーの利用や環境問題に考慮したスマートハウスなど、今後益々発展が期待されています。

社会人としての皆さんの活躍はこれからです。本学で培った力を思う存分社会で発揮していただきたいと思っております。

一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ホームエレクトロニクス開発学科として第1期生の卒業生となりました。そこで今回のHE pressは卒業特別号。また、巻頭特集は、理事長、学長、学科長から卒業生の皆さんにメッセージを頂きました。

## 創造工学部 ホームエレクトロニクス開発学科

# 卒業特別号

2012年度

## 巻頭特集：理事長、学長、学科長からのメッセージ

P2・第1期卒業・卒業研究概要紹介／実践プロジェクト、開発プロジェクト報告会  
P3・卒業生メッセージ／教職員からのメッセージ P4・父母メッセージ／客員教授からのメッセージ／家電の豆知識

## 「ホーム」で培った力で、 世界で活躍してください

ホームエレクトロニクス開発学科 学科長 黄 啓新



ホームエレクトロニクス開発学科第一期生の皆様、卒業おめでとうございます。ご家族の皆様にも心よりお喜び申し上げます。今から4年前、私たち教職員と一緒に新学科に入学してきました。家電関連企業の協力の下で、家電製品分解・実験や実習を取り入れた体験型授業、家電工場の見学、企業からの実践課題へのチャレンジ等の他、大学に類のない新しい教育プログラムを実践し、皆さんたちもしっかりと学習成果を上げ、大きく成長してきました。皆さんの成長によって、日本初の家電工学をテーマとしたホームエレクトロニクス開発学科を完成することができました。本学科の教育的な取り組みは注目を浴び

ています。素晴らしい学生諸君に巡り合えたことは非常に幸せと感謝いたします。これから皆さんは社会人としての生活がスタートします。初めてのことがたくさんあると思いますが、4年間「ホーム」で培った力を活かし、常にチャレンジ精神を持って、原点に戻って、活躍されることを期待しております。



### HE press Vol.05をお届けいたします。

HE pressは、ホームエレクトロニクス開発学科の教育内容や研究、企業とのプロジェクト、学生のさまざまな活動などを皆様にお伝えすることを目的に発行されました。今後も、学科のホットな話題、情報を適時お伝えしていきます。皆様のご意見をお聞かせ下さい。

HE press 編集責任者 金井 徳兼  
(ホームエレクトロニクス開発学科教授)

2011年度 卒業研究論文テーマ一覧

氏名	卒業研究論文テーマ	担当教員
阿川 瑞貴	窓清掃ロボットの窓面走行の技術要素の検討と汚れ検出方法の考察	金井 徳兼
浅野 敦志	見守りシステムのための生活音測定	白滝 順
安藤 諒	一人暮らしにおける家電製品のリモコン制御に関する基本検討	黄 啓新
浮田 泰孝	フォグディスプレイ～運動視差を用いた立体視の検討～	奥村万規子
岡田 秀平	電気アシスト付き自転車のバッテリーに関する基礎検討	黄 啓新
尾本健太郎	施工用マニュアルの評価と改善	一色 正男
鏡城 崇宏	LEGO Mindstorms NXT を活用したスマートハウス学習教材の開発	金井 徳兼
君野 祐希	電気洗濯機の省エネと洗濯性能向上に関する改善点の考察	金井 徳兼
國本 宗大	熱中症温度計を用いた厨房の熱環境測定	高島 信也
久保 裕貴	デジタルカメラの顔認識	白滝 順
公文 義矢	ホームネットワークによる消費電力の見える化	奥村万規子
小林雄一朗	モーションブラー現象に関する実験的な検討	黄 啓新
三枝 隆樹	空調機内部構造の最適化検討	一色 正男
酒井 一樹	デジタルカメラの顔認識	白滝 順
佐藤 健太	レーザー光を用いた曲管形状検出に関する検討	三輪 基教
柴沼 卓哉	一人暮らしにおける家電製品のリモコン制御に関する基本検討	黄 啓新
鈴木 康平	LEDを用いた「ろうそくの炎」の新しい表現手法に関する検討	三栖 貴行
鈴木 孝寛	LEDシャンデリアの低消費電力化に関する検討	三栖 貴行
関野 佑樹	家庭用野菜栽培器の試作と考察	金井 徳兼
添田 勝志	多様な設置条件を考慮した太陽光発電システムの検討	森 武昭
高須 淳	レーザー光を用いた曲管形状検出に関する検討	三輪 基教
高橋 良	ホームネットワークによる消費電力の見える化	奥村万規子
武田 翔平	窓清掃ロボットの窓面走行の技術要素の検討と汚れ検出方法の考察	金井 徳兼
田崎 義憲	電気洗濯機の省エネと洗濯性能向上に関する改善点の考察	金井 徳兼
田中 淳	ミニ水力発電の実用化研究とHEMSの基礎的検討	森 武昭
中島 義人	LEGO Mindstorms NXT を活用したスマートハウス学習教材の開発	金井 徳兼
中西 淳大	LEDを用いた「ろうそくの炎」の新しい表現手法に関する検討	三栖 貴行
中村 健人	フォグディスプレイ～運動視差を用いた立体視の検討～	奥村万規子
中山 直	IHクッキングヒーターによる自動調理に関する基礎的検討	森 武昭
野中 翔太	レーザー光を用いた曲管形状検出に関する検討	三輪 基教
福代 健太	空調機内部構造の最適化検討	一色 正男
藤崎弘太郎	半導体表面近傍に発生した空乏層の熱的な可視化	高島 信也
松本 純希	フォグディスプレイ～運動視差を用いた立体視の検討～	奥村万規子
水田 浩貴	ミニ水力発電の実用化研究とHEMSの基礎的検討	森 武昭
武藤 佑一	IHクッキングヒーターによる自動調理に関する基礎的検討	森 武昭
望月 翔太	熱中症温度計を用いた厨房の熱環境測定	高島 信也
森 史英	LabVIEWを用いた筋電計測システムの検討	黄 啓新
山口 晃範	ディスクリット型トランススタワーアンプの設計と製作	高島 信也
山中 辰洋	LEDシャンデリアの低消費電力化に関する検討	三栖 貴行
横関 諒	多様な設置条件を考慮した太陽光発電システムの検討	森 武昭
横森 平汰	LEDシャンデリアの低消費電力化に関する検討	三栖 貴行
渡邊 純希	一人暮らしにおける家電製品のリモコン制御に関する基本検討	黄 啓新



大学の学習総まとめ的な位置付けである卒業研究。研究テーマの設定からはじまり、関連事項の調査、設計製作をすめ、指導教員や連携する企業関係者と意見交換を行い、またアドバイスを受けて研究テーマの具体的な解をまとめあげることになります。大学での授業科目やプロジェクトを通して学生諸君が修得した知識やスキルを活用して課題の解決に取り組んでいきます。研究テーマは電気電子工学の基礎技術に関わることや、電子回路の設計試作と評価、家電製品の機能評価や機能の改善提案、物理現象の解析や考察、科学学習教材

2月9日日本学メディアホールにて報告会が開催され、23テーマの発表と質疑応答が行われました。発表会には、今後卒業研究にチャレンジする在野の開発など、多方面にわたり、家電製品の関連分野に関することや本学との関連する技術、また産業界の幅の広さを改めて実感する内容です。

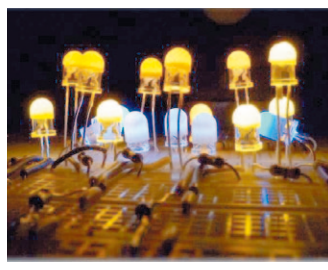


卒業研究を通して身につけた学習や社会人基礎力につながる成果をステツプとして、社会や企業で活躍してほしいと思います。3月には卒業論文の要旨を集が発刊の予定です。

第1期 卒業 卒業研究

概要紹介

実践プロジェクト報告会 企業と連携して進める実践プロジェクトは、今年度で3年目の節目を迎えました。開発プロジェクトに引き続き、11テーマにおよぶ実践プロジェクト報告会が情報学部棟12階メディアホールで行われました。企業が提示された課題に挑戦することにより、社会人基礎力である、前に踏み出す力、チ



ムワークで働く力と考える抜く力を身につけられたのか、これまでの勉強の成果が問われる報告会で、前に踏み出す力、チームワークで働く力と考える抜く力を身につけられたのか、これまでの勉強の成果が問われる報告会で



2011年度 開発プロジェクトテーマ一覧

No.	テーマ名	氏名
1	ディスクリット型のオープンによるウィーブリッジ発振回路	中尾淳平
2	LEGOシステムをもちいた自動調理機の試作と検討	小船純一・鈴木啓太・鈴木聡・和田勇磨
3	ARMADILLOを用いた家電製品の遠隔制御	天野達詞・岡村大地・鈴木琢磨・関戸一・瀬本健人
4	画像処理技術を用いたジェスチャーリモコンの検討	崎山曜・佐藤隆平・服部礼治・菱山慶太郎・本和也
5	リモコンとゲームコントローラーの二つから導き出したデザイン	浅沼努・杉山竜平
6	タブレットのデザイン	河原崎駿・吉田寿宣
7	操作性重視の音楽プレーヤー	古波蔵昭人
8	インテリアとしての家電	本間裕次郎
9	データから見た太陽光発電の有効利用	大浦純・落合翔・細川昭洋
10	センサー技術を活用した住宅設備の自動化に関する基礎検討	中澤洋亮・近藤隆典
11	Labviewを活用した電力使用状況のモニタリングシステムの検討	西山孝仁・遠藤直哉・横山悠平
12	LEDを用いた炎の色の表現方法に関する研究	和田学・熊澤悠記・中田建一郎・増田晋也
13	埃検知	渡邊好輝・金城昌尚・岡正充
14	生活の中での騒音源調査	栗田拓実・甲斐純平・中尾圭佑
15	生活音利用研究	山本進

2年目となる開発プロジェクト報告会 昨年度に続き、今年度も「開発プロジェクト研究」報告会が情報学部棟12階メディアホールで行われました。発表テーマ数は15となり、日頃学科講義で習得した知識・技術を「開発プロジェクト研究」に生かしながら進めていきました。テーマは自ら考えた家電製品開発テーマや企業に協力をい

ちは来場された企業の皆様や学科教員に向けて1年間努力してきた開発プロジェクトの成果を分かりやすく説明してまいりました。ポスタープレゼンテーションはポスターに要点をまとめる能力、そして聞き手側に対して不足している情報を上手に口頭で説明することなど

の能力が必要となります。これらの能力は将来社会人となったとき、不可欠な能力です。

2年目となる開発プロジェクト報告会

卒業研究を通して身につけた学習や社会人基礎力につながる成果をステツプとして、社会や企業で活躍してほしいと思います。3月には卒業論文の要旨を集が発刊の予定です。

実践プロジェクト報告会

発表後、HEPress Vol.05の1面記事も担当して頂いた日立アプライアンス株式会社社田中博文氏より総評を頂きました。

2011年度 実践プロジェクトテーマ一覧

No.	テーマ名	氏名	協力企業
1	ファンタム電源の製作とその特性	堀内高秀・市川祐樹・亀谷一史	オーディオテクニカ
2	掃除機の性能比較	尾崎志泰・三田俊輝・大須賀和貴・三上晃平	
3	IHクッキングヒーターにおける湯沸かし機能の特性比較	荒木祐来・伊藤拓磨・長澤優樹	日立アプライアンス 多賀家電事業部
4	IHクッキングヒーターによる炒飯レシピの開発	大館卓哉・三浦高平・三武穂波	
5	浴室暖房乾燥機における省エネモードの検討	池田恭史・土屋俊之・米田勇介	東芝キャリア
6	家電体験史	村上薫・橋内正貴・木村光夫・松永茂斗	パナソニック スペース&メディア創造研究所
7	生活音利用研究(MFee)	加藤峻・杉本巧・山本進	未来技術研究所
8	未来のEV予測としてのワイヤレス充電システムの検討	岡本健司・粕谷勇・藤田和哲	ソニー
9	LEDテーブルクロスの販売方法の学びと実践	安藤夏生・笠間賢大・野見山翔太	未来技術研究所
10	レゴキットによるスマートハウスの試作	大谷昌生	レゴエデュケーション 日本ナショナルインストルメンツ アプリル
11	家電製品のマニュアル(仮称)	長峰信太郎・松野智仁	インソワスタジオ

### 教員メッセージ

#### 一色 正男 教授

私にとって、初めての卒業生で、印象深く嬉しい。ぜひ、厳しい社会でも頑張って、前向きに進んでほしい。

#### 奥村 万規子 教授

今できることから始めて、前を向いて一歩ずつ力強く進んでください。歩幅や速さは人それぞれ。

#### 金井 徳兼 教授

社会は厳しい試練がありますが、自分のチャレンジフィールドでもあります。今後のご活躍を期待しています。

#### 黄 啓新 教授

4年間皆様と一緒に素晴らしいホームエレクトロニクス開発学科が完成し、大変うれしく思います。これからも“ホーム”のことを忘れずに、グローバルな世界で活躍してください。

#### 森 武昭 教授

ホームエレクトロニクス開発学科の一期生として、社会に巣立つ卒業生諸君におかれましては、この4年間の実践的な教育の成果を踏まえて、実社会で活躍していただきたいと期待しています。

#### 高島 信也 准教授

「徳不孤、必有隣」、徳のある人は孤独でなく、常に隣人がいるという意味です。常にこうありたいものです。

#### 白滝 順 講師

何事にも失敗を恐れず、好奇心とチャレンジ精神を持って責任ある社会人として頑張ってください。

#### 三栖 貴行 助教

この「家」の照明は皆さんでした。次は世界を照らしましょう。LEDのように、強く、永き光を放ちながら。

#### 三輪 基敦 助教

この4年間で身につけたものを糧として次のステップに進んでください。4年間楽しかったよ。

#### 高野 宏 技術職員

第1期生として晴れて社会人ですね。卒業おめでとう活躍を期待しています。

#### 丸田 智美 学科事務

この大学、学科で学んだことを糧に、社会で大きく羽ばたいてください。皆さんの未来に幸多かれと祈ります。



**三輪 研究 野中 翔太**  
静岡県立清水東高等学校  
部活との両立ができて、充実した学生生活をおくることができた。社会で貢献できるようになり、生懸命頑張る。

**森 研究 添田 勝志**  
神奈川県立平塚工業高等学校  
この学科で得た知識を活かして、今後会社でも努力を重ね、一人前の社会人になれるように頑張ります。

**金井 研究 鎬城 崇宏**  
新潟県立登喜高等学校  
授業では家電製品の構造やデザイン、マーケティングなど様々な角度から家電製品について学習できた。

**金井 研究 中島 義人**  
神奈川県立旭高等学校  
実践プロジェクトになり頑張りました。結果として社会人基礎力を育成する事ができました。

**奥村 研究 公文 義矢**  
神奈川県立平塚工業高等学校  
大学で学んだ電気の知識を生かし、新しい技術を吸収し自分で考え工夫する事ができる社会人になりたい。

**白滝 研究 浅野 敦志**  
神奈川県立厚木清南高等学校  
未知の環境に身を置くことになるので、上司、先輩、同期とのコミュニケーションを大事にしたいと思う。

**高島 研究 藤崎 弘太郎**  
神奈川県立厚木東高等学校  
この4年間を通して、専門的なことだけでなくコミュニケーション能力など今後に生かせるものを学びました。

**黄 研究 岡田 秀平**  
神奈川県立由原城北高等学校  
大学生活で視野が広がった。社会に出たら自転車の普及に努めたい。常に新しいことに挑戦していきたい。

**三輪 研究 横森 平汰**  
山梨県立甲府城西高等学校  
大学で学んだことを生かし、就職先でも活躍したいと思います。

**三輪 研究 高須 淳**  
神奈川県立厚木北高等学校  
2つのプロジェクトを通じ多くの経験ができた。大学で経験したことを活かし、社会で活躍したい。

**森 研究 田中 淳**  
千葉県立館山高等学校  
大学で研究したことを活かして、社会と企業に貢献し、神奈川工科大学のOBの名に恥じぬ人間になりたい。

**金井 研究 阿川 瑞貴**  
神奈川県立平塚工科高等学校  
2年生から実践プロジェクトに参画して企業の方と接することで、入学当初に比べ対人関係がうまくなった。

**金井 研究 田崎 義憲**  
茨城県立水戸工業高等学校  
大学でのプロジェクト学習、社会人基礎力育成プログラムを通して「人へ情報発信する力」が身に付きました。

**一色 研究 尾本 健太郎**  
神奈川県立厚木清南高等学校  
1年の頃は退学を考えたこともありましたが、今では4年間通い続けて良かったと心から思います。

**奥村 研究 中村 健人**  
長野県立長野工業高等学校  
体験型授業によって、今まで学習した基本原理などをより理解でき、就活に役立ちました。

**高島 研究 望月 翔太**  
静岡県立吉原高等学校  
4年間を通して自分の学力と技術を磨き、就職を難なく乗り越えられたのはこの学科だったからだと思います。

**黄 研究 柴沼 卓哉**  
茨城県立水戸工業高等学校  
プレゼンテーション、企画力、発表能力が著しく向上した。

**三輪 研究 鈴木 康平**  
私立厚木中央高等学校  
家電制御を詳しく学べたのでこの大学で入った良かったです。電気系の勉強をしてきたので働く企業でも活かせると思います。

**三輪 研究 佐藤 健太**  
神奈川県立相模田名高等学校  
他学科と比べると発表が多く、プレゼン技術が身についた。社会ではひたむきに頑張る。

**森 研究 水田 浩貴**  
静岡県立藤枝西高等学校  
チームで企画を立案から実行まで行う経験を大学で得られた。社会に出て向上心を持ち続けていきたい。

**森 研究 横関 諒**  
神奈川県立平塚工科高等学校  
会社では、先輩方に頼り切らず自分で考え行動し、責任を持って仕事に取り組み人間を目指す。

**金井 研究 武田 翔平**  
神奈川県立新栄高等学校  
大学入学前は発表が苦手でしたが、授業や卒業研究などで練習をしていくうちに発表が出来るようになりました。

**一色 研究 福代 健太**  
静岡県立掛川工業高等学校  
大学では、家電製品等の基礎について学ぶことができました。卒業後は、大学院に進学し、研究を続けます。

**奥村 研究 松本 純希**  
神奈川県立秦野豊田高等学校  
実践開発プロジェクトを経験して、コミュニケーション力や問題発見力、プレゼン力が向上しました。

**高島 研究 國本 宗大**  
静岡県立吉原高等学校  
講義の一環として行った実験を通して、準備や協力することの大切さを学び貴重な体験を数多くさせてもらいました。

**黄 研究 安藤 諒**  
神奈川県立厚木清南高等学校  
様々な事に興味を持つようになった。社会に出たら大学で培った事を活かして挑戦していきたい。

**三輪 研究 中西 淳大**  
私立横浜学園高等学校  
身近な家電製品のしくみや原理が理解できるようになりました。自分のスキルを活かして社会貢献できるように頑張りたいです。

# 卒業生 42名 Message 全員メッセージ

**森 研究 武藤 佑一**  
神奈川県立荏田高等学校  
この学科で学んだ多くのことを活かし、企業では責任感のある社会人として頑張っていきたいと思っています。

**金井 研究 関野 佑樹**  
神奈川県立秦野南が丘高等学校  
この学科では、実践プロジェクトでの企業人との交流があり、発表も多かったので就職活動に有利でした。

**一色 研究 三枝 隆樹**  
山梨県立塩山高等学校  
大学生活では、計画的に単位を取得するのが先決です。前期で単位を取得すれば、有意義な大学生活を送れます。

**奥村 研究 高橋 良**  
神奈川県立平塚工業高等学校  
H科はプレゼンを行う機会が多く、専攻学科の知識以外にも得るものがとても多くありました。

**白滝 研究 久保 裕貴**  
神奈川県立相模原総合高等学校  
社会に対しての期待と学生として歩んだ自分を信じ大きな経験による財産を求めて世の中に飛び込んでいく。

**黄 研究 森 史英**  
私立大成高等学校  
就きたい仕事が見つかったのが一番大きい。早い4年間でした。社会に出たら在学中に学んだことを経験したことを忘れず、頑張りたいです。

**黄 研究 小林 雄一郎**  
私立相模原学園高等学校  
今の友人と知り合えて良かった。いい4年間でした。学習面では体験型学習をすることで電気機器を詳しく調べる意欲が増した。

**三輪 研究 鈴木 孝寛**  
私立光明学園相模原高等学校  
私の企業での目標は、入社してからしっかり基礎を学んで社会人として当たり前の事が当たり前にできる人間になります。

**森 研究 中山 直**  
東京学館新潟高等学校  
学校で学んだ家電製品の知識を活かして、企業では誰よりも早く仕事や製品を覚えて成果を出したい。

**金井 研究 君野 祐希**  
神奈川県立上矢部高等学校  
実践プロジェクトに参画することで、人との関わり大切さを学ぶことができ、人間的に成長できた。

**一色 研究 浮田 泰孝**  
神奈川県立相模田名高等学校  
実践・開発プロジェクトによりチームでものを作り上げる楽しさやプレゼンテーション能力が身に付きました。

**白滝 研究 酒井 一樹**  
神奈川県立川崎北高等学校  
社会人として恥の無いよう「一期一会」を忘れず、多くの人達と関わり頑張っていきたいです。

**高島 研究 山口 晃範**  
私立相模原高等学校  
この大学生生活は、未経験の事にたくさん挑戦をし、自分の可能性というものに気づいた4年間でした。

**黄 研究 渡邊 純希**  
山梨県立富士北高等学校  
大学に入ってエゴ意識が高まった。今後も更に節電していきたいと思えます。

**三輪 研究 山中 辰洋**  
神奈川県立川崎北高等学校  
いち早く環境に慣れる事を考えていきたいと思っています。



たいと思います。

# 創造工学部 ホームエレクトロニクス開発学科 INFORMATION

## 学科と学生のための情報ひろば

### 父母メッセージ

#### 息子の卒業に当たって

中島 正人

息子は2007年、高校3年生の夏休みの終わりに、進路先の決定に悩んでいました。台風の接近で最悪の天候の中、オンラインキャンパスに出かけ、新しくできる「ホームエレクトロニクス開発学科」の説明を直接、金井教授にいただきました。これが運命的な出会いとなり、直後のAO入試にエントリーし合格させていただきました。そして2008年4月4日の入学以降積極的に学生生活を過ごさせていたいただいたようで、中でも企業連携・プロジェクト科目群の勉強には力を入れていたようです。

2011年には経済産業省主催の「社会人基礎力育成グランプリ2011」関東地区予選大会に学友らと参加し企業連携実践プロジェクトの学習の成果について発表し、優秀賞を受賞し全国大会にも参加することができました。また高大

連携への取り組みへの参加、インターンシップとして企業訪問や職業体験への参加、レゴ教育システムへの取り組みへの参加、高校生対象の進学フェスタへのスタッフとして参加、小学校への出前授業への参加、ロボットコンテストWRO JAPANのスタッフとして参加、シンガポール国立大学への研修旅行への参加などなど、教室での勉強はもちろんのこと、それ以外での勉強にもこのように先生方に指導していただきながら、社会との繋がりをもち、人として人間として大きく成長させていただいたと思っております。なかなか積極的に勉強に取り組みむタイプではなかった息子が、いつからか大学院に進みたいと言いだし、就職活動もしないで毎日大学に行き心配していましたが、どうにか大学院への進学も決まり、息子の成長ぶりにただただ感心するばかりです。これもひとえに大学の教授や先生方、職員の方々のご指導の賜物と本当に感謝しております。

特に入学のきっかけを作ってくれた、研究室でもお世話になった指導教員には息子が公私に渡りお世話になり感謝のしよるもありませぬ。本当にありがとございます。神奈川工科大学の今後の更なる発展と活躍を祈って、いっ方保護者としての感想とお礼とさせていただきます。

#### 卒業生の皆さんへ

望月 哲史

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。我が子が、夢と希望を胸に神奈川工科大学HE学科に入学してから早4年、無事卒業を迎えることとなりました。

息子を、一人住まいするアパートに送り届け、妻と帰りの車の中で「大丈夫かな。しっかりと生活していけるのかな。」と話したことを懐かしく思い出します。でも、数ヶ月たつて、大学での講義や実習の様子を電話して来る声を聞くと、安心してました。学校から送られてくる学生たちの活動状況等を細かく記載した資料なども、とても助かりました。

月日がたち、子供との会話も、2年生、3年生と進級していくと、将来就職を希望する企業の話になり、特に今年度は東日本大震災の影響や欧州の金融不安等もあり、とても厳しい年となりました。大学主催の就職説明会にも参加して、学校側の就職担当の方の詳細な説明、熱意のこもった、ためになるアドバイス等を受けました。本人も企業のインターンシップ(就業体験)に参加してがんばっていた記憶があります。その甲斐もあり、何とか本人が希望する企業に内定をもらうことができました。

卒業生の皆様は、これから一社会人として、様々な困難に立ち向かわなければなりません。ひとは社会に出て初めて己の無知に気がつくといひます。

石坂泰三の名言に「人生はマラソンなんだから、100メートルで1等をもちつてしょうがない。」と言つ言葉があります。4年間の、神奈川工科大学での経験を活かし、大学で学んだ専門性にあまりこだわらず、自分の可能性を信じて一歩一歩、進んでいってください。

#### 客員教授からのメッセージ

田中 博文客員教授  
日立アプライアンス家電事業部

第一期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

学科創設当初から、工場見学や実践プロジェクト、授業などいろいろな場面で皆さんと接し、前向きで素直な姿勢を頼もしく感じました。これから皆さんは社会に出られて、モノづくりに携われる方も多と思います。何をつくるのか、どうやってつくるのかと考えると、まず頭だけでなく、手で考えるようにしてください。この大学では、そう教わったと思います。

ますます厳しい時代での門出ではありますが、ぜひとも臆することなく若い力を存分に発揮してください。

今後のご活躍を心から祈念しています。

家電。これほど生活に浸透した電気機器はありません。この学科ではその家電を主体として、多様な専門知識を学ぶことができます。最近ではこの「家電」を題材にしたテレビ番組まで登場しました。「暮らしに役立つ!家電の学校」。毎週水曜日21:00~22:00までBSJapan

に4回出演しています。本学科在学生のご家族の皆様、毎週水曜日に貴方の子供に講義を行っている、家電解体が「三度の飯よりも好きな変態教員(?)」\*に会うことができます(\*:変態とは思いませんし、私が独身であるという事実とは関係ありません)。

#### 家電の知識 Vol.5

ホームエレクトロニクス開発学科 助教 三栖 貴行

(BSデジタル7ch)にて放送中で、チュートリアル徳井義美氏と元フジテレビアナウンサーの内田恭子氏がMCを務める家電情報番組です。さて、何故この番組の話をするのかと申しますと、私、この番組の準レギュラーなのです。出演回数は短い出演時間の回を含めると、既

さて、その「家電の学校」第6回の放送でお話したのですが、意外に知られていない豆知識を今日は披露したいと思います。

皆さんもコンビニで一度は観たことがあるのではないのでしょうか? 蛾などの虫は紫外線の光を感じることができ、誘蛾灯内部の蛍光灯から発生する近紫外線の光に誘われて近づいてきます。そこで高電圧が印加されている鉄線で焼

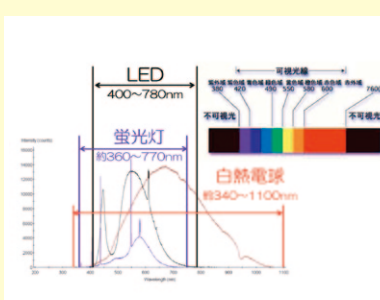


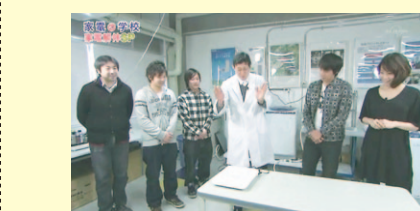
図1 主な電球の発光波長の違い

殺されるわけです。この紫外線、蛍光灯からも漏れています。これが原因で、夏場など家の蛍光灯に虫が寄ってきてしまい、厄介な思いをしたことのある人は多いかと思ひます。

しかしながら、LED電球。素晴らしいことに可視光線(人が見ることの出来る光)のみ発生させることができるため、虫が寄りにくいという特徴があります。図1に主な電球の発光波長の違いを示します。どうでしょうか? LED電球は白

熱電球や電球型蛍光灯のように紫外線や赤外線を放出しないのです。虫が嫌いな人は是非、LED電球を使いましょう。省エネで長寿命という特徴もあります。

社会人になる卒業生たちに伝えたいことがあります。終電近くまで「ネオン」の光に群がる「虫」にならないようにしましょう!



「暮らしに役立つ!家電の学校」 放映チャンネル:BSジャパン 放送時間:毎週水曜日夜9時00分

## 力と自信がつく教育で「考え、行動する人材」を育成します。



ものづくり専用施設 KAIT工房



- 工学部
  - 機械工学科(航空宇宙専攻含む)
  - 電気電子情報工学科
  - 応用化学科
- 応用バイオ科学部
  - 応用バイオ科学科
  - 栄養生命科学科[管理栄養士養成課程]
- 創造工学部
  - 自動車システム開発工学科
  - ロボット・メカトロニクス学科
  - ホームエレクトロニクス開発学科
- 情報学部
  - 情報工学科
  - 情報ネットワーク・コミュニケーション学科
  - 情報メディア学科

# 神奈川工科大学

KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

URL <http://www.kait.jp/> TEL 046-291-3002  
e-mail [kikaku@kait.jp](mailto:kikaku@kait.jp)  
〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030



kait 検索